

平成28年度課外プロジェクト実施報告書

(課外プロジェクト名)

HIC プロジェクト

1. 組織

代表 M15184B 鎌田奏
副代表 U15139C 普輪崎捺月
U15032J 岡田陽南
U13158I 八木瑞季
U13117A 橋本まどか
R002317 Pamela Dominguez Garfias

2. プロジェクトの概要

国際交流サークル「HIC」は本学学生と留学生との交流を目的として2015年4月に発足した。HICの活動では、留学生が自国の言葉や料理などの文化を紹介する場を設け、本学学生の異文化理解を促進してきた。本プロジェクトでは、日頃のサークル活動での交流の輪をさらに広げられないか、もっと大きなことはできないか、というメンバーの思いから様々な参加者を募り、留学生とともに作り上げるイベントを行い、その中で学生間のみならず、地域の方々も含めた様々な環境の人々が交流することを目的としたものである。

本年度のプロジェクトでは、留学生の母国の文化紹介に加え、日本の伝統的な行事を体験する機会を充実させ、留学生が日本文化をより深く理解できるように活動した。

イベントの開催にあたっては、ポスターの掲示やチラシの配布、SNSなどを利用した広報活動に力を入れ、留学生、学部生、院生、留学生のフレンドシップファミリーを中心とした地域の方々など、多くの人に参加してもらうことができた。

3. プロジェクトの計画及び活動詳細

1) 異文化交流会

日時：2016年10月31日

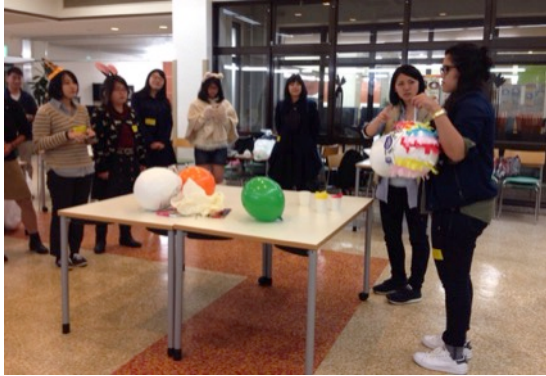
場所：本学食堂

参加者：約40名



日本の文化と留学生の文化をそれぞれ紹介し、実際に参加者に体験してもらった。日本の秋の食文化としては栗ご飯を紹介した。まず、栗の実が見えていない状態のいがぐりを参加者に見せ、そこからどのようにして栗の実を取り出し、栗ご飯にするのかを説明し、実際に栗ご飯を提供した。栗ご飯を初めて食べた留学

生もおり、「作り方を知りたい」「また食べたい」という声を聞くことができた。留学生からの文化紹介としては、11月1日、2日にメキシコで行われる行事、「The Day of the Dead～死者の日～」という日本の「盆」のような行事についてメキシコからの留学生が紹介した。メキシコのあらゆる祭りの中で行われる「ピニャタ割り」（紙でできた風船を飾り付けたものを目隠しした人が棒で叩いで割る、スイカ割りのような遊び。中にはキャンディなどを入れる。）で使われる、ピニャタを参加者全員で作る、ピニャタ割りを楽しんだ。参加者のほとんどが初めての体験であり、とても盛り上がった。



2) 本学大学祭への出店

日時：2016年11月12日、13日

場所：本学講堂横外来駐車場

参加者：約30名



ベトナムの麺料理、フォーの屋台を出店した。出店に向けて10月から日本人学生と留学生とが共に企画会議を行った。当日までには看板製作などの準備作業を行い、当日は留学生が主体となって販売や接客、宣伝などを行い、2日間で約150食を売り上げる人気店となった。販売や接客、宣伝の際には、大学祭への参加者と留学生とが笑顔で会話する場面が多く見られ、それぞれの関わりを深める良い機会となった。



3) もちつき大会

日時：2017年1月16日

場所：国際交流会館

参加者：約40名



地域の方を講師としてお招きし、もち米を蒸すところから成型まで、もちつきの全ての過程を体験した。この日は、多くのフレンドシップファミリーや、地域の中学校のALT、学部生の家庭教師先の高校生とその友人数名など、日頃関わることのあまりない方や初めて兵教大に来る方など、様々な参加者と交流することができた。高校生が、習った英語や知っているスペイン語を使って留学生に話しかけに行く様子が印象的であった。留学生の中にはもちの食感に慣れない人もいたが、醤油、きな粉、あんこ、海老などいろいろな味のもちに挑戦していた。初めてもちをついた留学生もいれば、自国で全てを経験したことのある留学生もおり、日本人学生にとっても異文化の学びの機会となった。神戸新聞の記者による取材もあり、日本人学生のサポートのもと韓国やスイスからの留学生がインタビューを受けていた。



4) 日本の行事や遊びにふれよう会～節分～

日時：2017年2月9日

場所：国際交流会館

参加者：約25名



この回は2月の開催ということで、3月に帰国する留学生にとっては最後のイベントとなった。日本文化である節分が、邪気を追い払い、豊かな福のある春が来るようにと願いを込めた儀式であることを学部生がプレゼン形式で紹介し、実際に恵方巻きを食べたり、鬼の面づくりや豆まきを体験したりした。また日本の昔遊びが体験できるコーナーも設け、遊び道具の類似点や相違点を感じ取ることもねらいとしていた。楽しみながら日本の文化について体験することができたので、有意義な交流会であった。

当初の計画としては、「日本の行事や文化にふれよう会」ではなく、1月に「書き初め大会」を行う予定であった。しかし12月に行う予定であった「もちつき大会」の日程調整やお招きした講師の方の都合上、1月に「もちつき大会」、2月に「日本の行事や文化にふれよう会」を行う運び

となった。



4. 得られた成果

学部生，院生，留学生が協働的に企画・運営することで，それぞれが主体的に国際交流に参加する姿が見られた。多くの活動が計画されていたイベントの中では，ゆっくりと会話を楽しむことが難しいという反省もあったが，準備段階から留学生との話し合いの場を設けたことはそれを解決する手立てであり，交流の機会が大きく広がっていたのではないかと思われる。

今回，広報活動に力を入れたことで，フレンドシップファミリーの方々をはじめ，地域の中学校や高等学校のALT，中高生など，普段あまり関わることのないたくさんの方々にも参加していただくことができた。この課外プロジェクトの助成により行うことができたイベントで，国際交流サークルHICの知名度が大きく上がったことが期待される。そのため今後も様々な形で留学生とともにイベントを企画し，そのイベントが相互理解を促すという目的を達成するための手段となるよう，引き続き活動が継続していくことを願う。

5. 費用の内訳

(円)

消耗品	旅費	謝金	その他	合計
37,416	0	10,000	15,215	62,631